

平成30年度特定侵害訴訟代理業務試験

論点〔事例問題2〕

問1 起案

- 1 不正競争防止法第2条第1項第1号と商品形態の商品等表示性の判断基準及び具体的主張
- 2 商品等表示（商品形態）の類否の判断基準及び具体的主張
- 3 不正競争防止法第4条、第5条第2項に基づく損害賠償請求と推定覆滅のための具体的主張
- 4 不正競争防止法第19条第1項第3号に基づく先使用の抗弁と具体的主張

問2 小問

- (1) ア 履行補助者の故意・過失と債務不履行責任（民法第415条）
イ 使用者責任（民法第715条）の成立要件
ウ 従業者の不法行為に基づく損害賠償責任（民法第709条）と使用者責任との関係、不真正連帯債務の理解
- (2) ア 一部請求、処分権主義、既判力の範囲
イ 訴えの追加的変更
ウ 被告側反訴としての債務不存在確認訴訟